

仕掛花火の楽しみ方

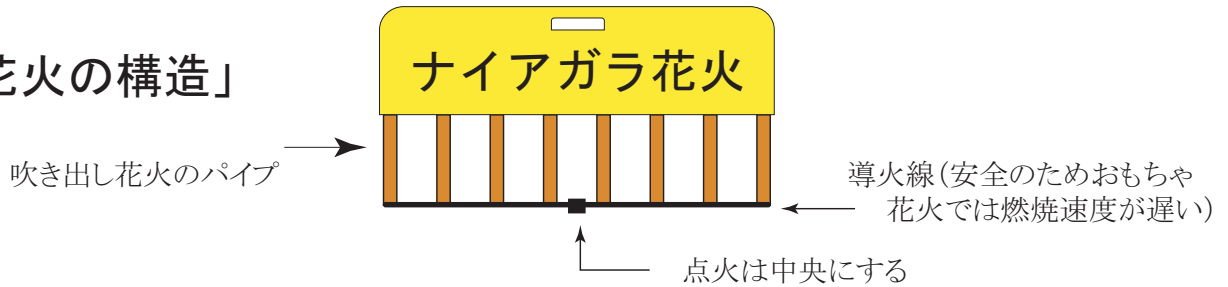
「人気の花火」

仕掛花火は花火大会で打ち上げ、連発、手持ちすすきスパークルなどと並んで人気の花火です。

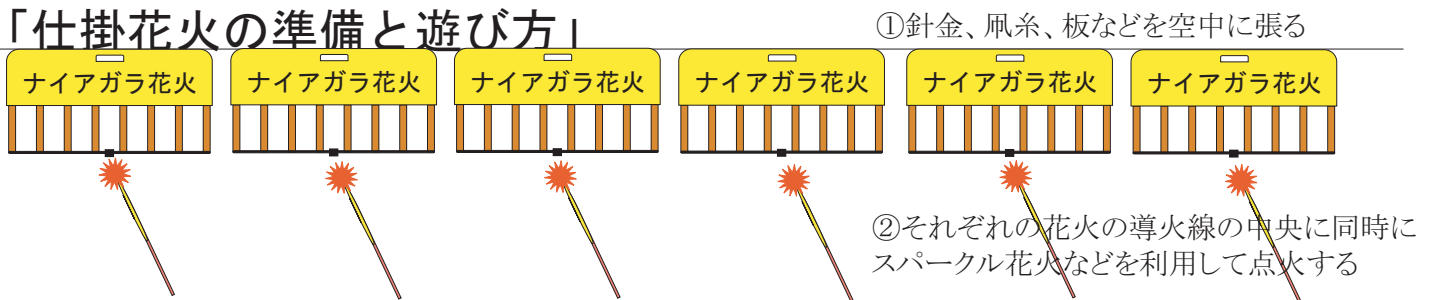
「複数を組み合わせる」

しかし玩具花火では1個あたりの火薬量が限られているので十分楽しむためには複数個を組み合わせ一組の大きな花火にするのがミソです。

「仕掛花火の構造」



「仕掛花火の準備と遊び方」



①針金、凧糸、木の板などを空中に張ってその下に仕掛花火を横に並べる。

②点火するときはそれぞれ独立の花火に一個ずつ同時に導火線の真中に点火してください。端から着けていくと、導火線の走るスピードが遅いので、最後に往きつくまでに最初の噴出し花火が燃え尽きてしまいます。これでは気の抜けた仕掛花火になってしまいますので、必ず各花火の真中に同時に点火してください。

(本格的業務用の仕掛花火では長くつながった導火線の端から点火すると、火が高速で走り一瞬のうちにすべての吹きだし花火に点火しますが、業務用の導火線は危険物のため、残念ながら玩具花火では利用できません。そこで上記のような工夫が必要なのです。)

③実際には別々の花火なのですが、暗闇の中では、見た目には大きな仕掛花火がいっせいに点火しているように見えます。

「応用」

上記の遊び方を逆に考えると、出来合いの仕掛花火ではなくても同じかそれ以上の効果をあげる遊びかたができます。それは噴出し花火として、手持ちのすすきやスパークルを利用することです。導火線にはスパークや中国製の連発花火や噴出し花火の導火線を利用します(但し、これは花火の改造に当たるので、万一事故を起こしても責任はもてません)

川越市問屋町3-1

株式会社新井商店制作